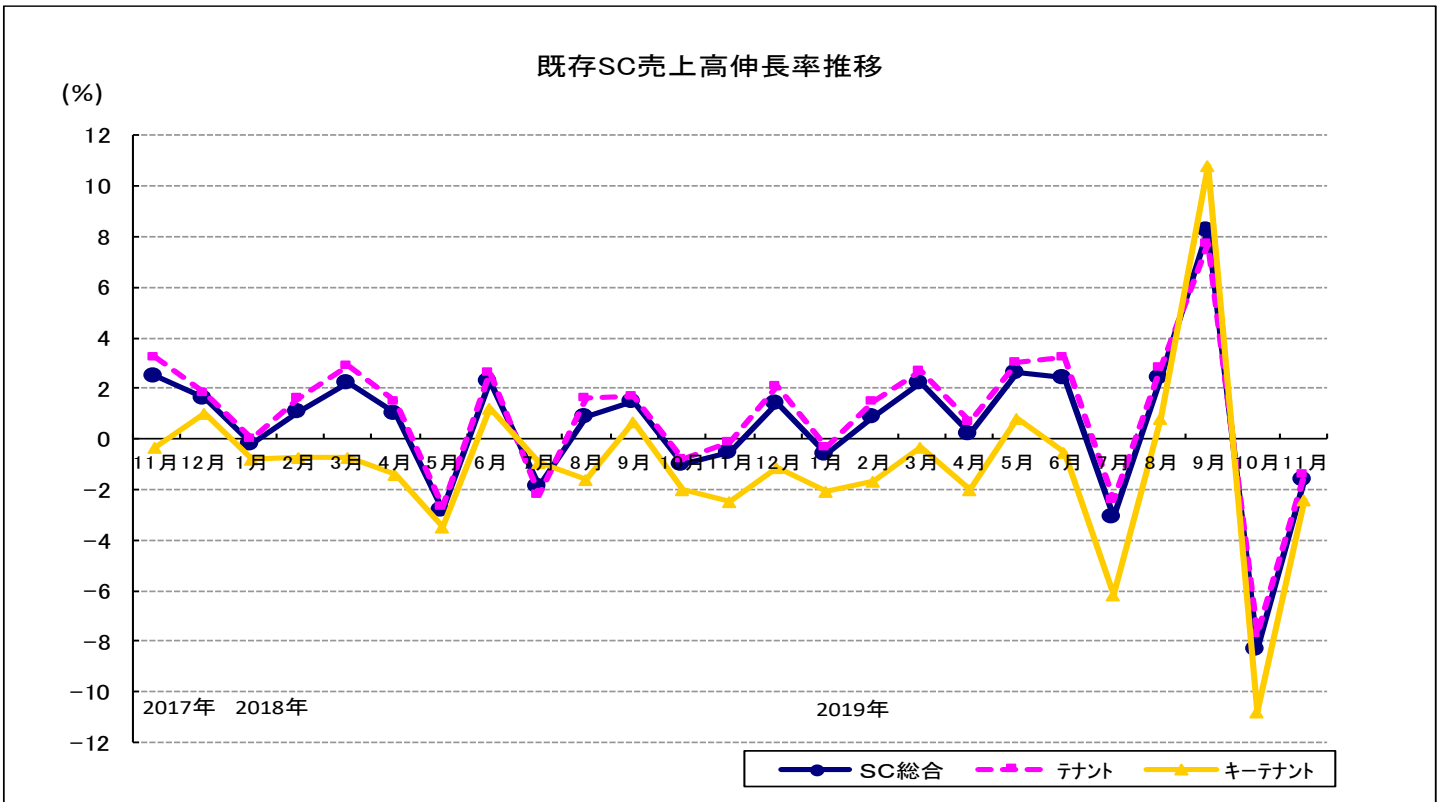


報道関係各位

SC販売統計調査報告2019年11月 既存SC前年同月比 : ▲1.6%
消費増税後の買い控えが続き、2ヶ月連続マイナス

< 2019年11月度・全体概況 >

- 11月度の既存SC売上高は、前年より休日日数は1日多かったものの、消費増税前の駆け込み需要の反動減が続き、総合で前年同月比▲1.6%となった。気温が高めに推移したため、重衣料等の季節商品が苦戦したことも影響した。
- 立地別・構成別をみると、テナント、キーテナントともに全ての立地で前年を下回った。特に、中都市中心地域のキーテナントについては、一部改装工事等の影響により、▲7.1%と大きくマイナスとなった。
- 立地別・地域別をみると、東北と九州以外の7地域で前年を下回った。特に中国・中心地域(▲8.5%)、四国・中心地域(▲6.5%)の売上低下が目立った。
- 都市規模別・地域別では、大都市、その他の地域ともに全体的にはマイナスか前年並みとなった中において、中心地域のSCが好調だった千葉市が+7.3%となった。一方、広島市は中心地域で他の地域との競合等による不調が以前から続いており▲5.2%となった。
- 業種毎の販売動向をみると、気温が高めに推移したことにより冬物商品の動きが鈍く、婦人衣料が不振と回答したSCが10月に引き続き多かった。また、医薬・化粧品は、前月より減少しているものの、消費増税の反動減による不振が継続していると回答するSCが多く見られた。



以上

この件に関するお問い合わせは 情報企画部: 金田・菰田・高橋
TEL: 03-5615-8524

※お手数をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送りくださいますようお願い申し上げます。掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

広報担当: 高橋・村松・大内・浅田
Tel. 03-5615-8524 / Fax 03-5615-8539
Mail. pr@jcsc.or.jp